

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合中】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> ・学力の基礎となる知識・技能の定着において、生徒によって定着度の偏りがみられる。 ・自主的に学習習慣を身につけている生徒が少ない。 <指導上の課題> ・学習を振り返る時間を確保する必要がある。 ・生徒が主体的に学習に向かう姿勢を育成する必要がある。	・「スタディサプリ」「ドリルパーク」などのICT学習ツールを積極的に活用、推奨し、漢字や基本的な計算などの知識・技能を学習者自身のレベルに合わせて取り組む【単元毎の実施】。 ・定期的に課題を出し、生徒の学習習慣の定着を図る【単元毎の実施】。 ・スクールダッシュボードの「授業の振り返り」を活用し、生徒は自身で学びの自己調整、教師は授業改善を図る【通年】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> ・得た知識を自身で理解し、言語化することについて課題がみられる。 ・思考力を中心とする応用問題に苦手意識をもっている。 <指導上の課題> ・基礎的な知識・技能を定着する授業展開が中心となっており、思考力や表現力を育成する活動や時間をより増やす必要がある。	・深い学びの実現に向け、「まとめ・表現」に重きをおき、身につけた知識や技能を基に、思考したり表現したりする活動を設定する【毎回実施】。 ・「問題発見・解決能力」「情報活用能力」の育成を2つを柱とし、生徒の資質・能力の向上を目指す。これを達成するために、思考力や表現力、探究心を養う授業展開、授業改善を行う。また、校内のデジタル基盤を整備し、生徒の学習機会においてICTを積極的に活用し、個別最適な学びの実現を目指す。【通年】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)